

## 「市民の生活状況に関する調査—ひきこもり支援の充実に向けて—」について

### 1 主旨

本市では、ひきこもり状態にある方の支援ニーズ等を把握するため、15歳から64歳の方が属する全世帯を対象に「市民の生活状況に関する調査」を実施しております。

この調査で市民の皆さまからお寄せいただいたご意見を基に、ひきこもり状態にある方に対する支援の充実を図るなど、誰一人取り残さない社会づくりをより一層進めていくこととしています。

### 2 調査概要

- (1) 名称 市民の生活状況に関する調査—ひきこもり支援の充実に向けて—
- (2) 対象 市内に居住する15歳から64歳の方が属する世帯（408, 759世帯）  
※年齢は令和5年5月1日時点
- (3) 調査内容（※設問は全17問。詳細は別添調査票参照）
  - ①基本属性や日常生活に関すること  
【設問】世帯構成、日常生活における不安や悩み 等
  - ②ひきこもりに関すること  
【設問】ひきこもり状態の方の有無、外出頻度、ひきこもり期間、きっかけ、求める支援 等
  - ③相談機関等に関すること  
【設問】相談の状況、相談機関の認知度 等
- (4) 調査票の配布  
8月1日（火）から順次ポストイングにより配付
- (5) 回答
  - ①回答期限 令和6年3月31日（日）
  - ②回答方法 専用ウェブページまたは返信用ハガキにてご回答ください。
- (6) その他
  - ①支援情報等が必要な方に情報をお届けするため、氏名、住所、メールアドレス等を任意でご記入いただく欄を設けています。
  - ②ひきこもり支援について広く周知するため、調査票に本市の相談窓口や関連事業を掲載しています。

### 3 今後の進め方

- (1) 回答結果について
  - ・現在回答結果については、集計中ですが、現時点で回答をお寄せいただいた方のニーズとしては、以下のような内容が多くなっています。

<ol style="list-style-type: none"><li>①仕事に関すること（自分に合った仕事を探すことや仕事をする事）</li><li>②健康づくり・体調管理に関する事</li><li>③専門家のカウンセリングを利用すること</li><li>④気軽に集まることのできる場所や機会を求めていること</li></ol>
---
- (2) ニーズを踏まえた必要なプログラムの検討
  - ・調査結果については、外部有識者の意見も踏まえながら、分析および必要な支援プログラムを検討し、支援の充実に向けた取り組みを進めてまいります。
- (3) 回答をいただいた世帯へのフォローアップ
  - ・氏名等をご記入いただいた世帯には、支援に関する情報を定期的に提供するほか、ニーズに応じて、ひきこもり地域支援センターなどの相談支援機関と連携して具体的な支援につなげます。